

平成24年度ボランティア講座・事業の開催予定!

講座・事業名	時期	内 容
サマーボランティア体験教室	7～8月	小・中・高の学生を対象に災害について学べる教室や、配食サービス体験、手話体験など、夏休みに様々なボランティア体験教室を行います。
アクティブシニアボランティア講座	9～12月	シニア世代、また退職後の人生をお考えの方を対象に様々な教室を開催し、地域に出て行くきっかけづくり、仲間づくりを行います。
傾聴ボランティア講座	10～11月	単に話を聴くだけでなく、心で聴いて相手の話を受け止める傾聴ボランティア。話を否定することなく、キチンと受け止めて聴く技術を身につけます。
点訳ボランティア講座	11～12月	点字の初心者のための講座です。視覚障がいや実際に点字板を使って点字を打ちながら、点字のルールを学びます。
1.17 ろうそく作り体験教室	12月	だれでも参加できるボランティア教室として、神戸市で行われる阪神淡路大震災追悼行事、1.17 のつどいで灯されるロウソクをつくり提供します。
1.17 メモリアルウォークへ参加	平成25年 1月17日	1.17 を風化させず宍粟市でも語り継いでいくために、メモリアルウォークへ参加し神戸市立中央体育館からなぎさ公園までの5kmを歩きます。
調理ボランティア教室	随時	配食サービスの調理ボランティアを育成するボランティア教室。個人またはグループで活動したいという希望があれば、随時開催します。

※開催時期など変更することがありますが、その都度、広報等でお知らせしますのでご確認ください。



4月9日(月) 一宮保健福祉センター

国際協力機構 (JICA) 視察研修受入れ

平成21年8月の台風9号豪雨災害時に宍粟市社協が行った災害ボランティアセンターの運営や被災者支援の取組みについて研修したいと、各国で災害支援・防災を担当する中央政府・地方自治体等職員10名(フィリピン、ミャンマー、ベトナム、タイ)が宍粟市社協に来所された。

研修では、被災当初の災害状況や職員の動き、社協の取組みを説明。またそれを受け被害の大きかった曲里自治会を訪問し、当時の自治会長である安積盛久さんあづみもりひさから当時を振り返りお話をいただいた。発災時の状況や体験について現地を歩きながらの説明に、参加されたみなさんは、自国の災害対応に生かそうと熱心に説明に耳を傾け、質問が飛び交う有意義な研修となった。

(本部 田中祥仁)

新任職員紹介



社協で働き始めて、改めて自分の町について深く知ることができます。ボランティアや民生委員、住民の皆さんに支えられて地域の活動ができているのだと感じます。

私は、地域の皆さん一人ひとりが主人公として活躍できる環境づくりをお手伝いしていきたいと思っています。そして誰もが、「宍粟市に住んでよかった」と思ってもらえるような町にすることができれば嬉しいです。

これからは社協の職員として、そして私自身も一人の地域住民として、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。